

会 議 録

会議の名称	平成 25 年度第 2 回茨木市環境審議会地球温暖化対策推進部会	
開催日時	平成 26 年 2 月 25 日 (火) (午前・午後) 9 時 15 分 開会 (午前・午後) 10 時 10 分 閉会	
開催場所	市役所南館 3 階 会議室	
議 長	三輪 信哉 (大阪学院大学 国際学部国際学科 教授)	
出席者	玉井 昌宏、箱田 正輝、三輪 信哉、村瀬 径介 【4人】	
欠席者		
事務局職員	松本環境政策課長、谷口新エネルギー推進係長、細井職員 【3人】	
開催形態	公開	
議題 (案件)	(1)指標設定及び進行管理について (2)その他 (報告) ・いばらきエコプラットホームについて ・エコグランプリいばらきについて	
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・名簿 ・配席図 ・指標設定及び進行管理について ・進行管理・評価イメージについて ・いばらきエコプラットホームについて ・エコグランプリいばらきについて 	<ul style="list-style-type: none"> 資料 1 別紙 1 参考資料 1 参考資料 2

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p><開会> 事務局より挨拶</p> <p>1 議題 (1) 指標設定及び進行管理の考え方について事務局から説明</p>
部会長	指標等について、前回の部会で出た意見をもとに修正が加えられたとのことである。ご意見をいただきたい。
A 委員	別紙 5 ページの各交通機関の乗客数のデータはどのように捉えたのか。
事務局	資料 3 ページに各指標の把握方法を示している。参考に見ていただきたい。例えば自動車の分担率は 5 年に 1 度、近畿圏パーソントリップからの情報である。
A 委員	自動車分担率は、距離に対する割合なのか、それともトリップ数に対する割合なのか。
事務局	トリップ数である。
A 委員	自動車分担率 2 3 % の算出方法が分からない。バスの乗客数も、増えれば良いのか減れば良いのか、どう見ればいいのか分かりやすくするとよい。
事務局	指標の見方の注釈を入れるようにする。ほかの項目に関しても、出典の一覧を示すことにする。
A 委員	鉄道の乗客数は乗る人数と降りる人数を足しているのか。
事務局	市内の駅から乗る人数のみである。
A 委員	バスの乗客数に関しても、市内のバス停から乗った人数であるのか。
事務局	そうである。
部会長	そのような細かい注釈を入れておくとよいかもしれない。
A 委員	別紙 2 ページだが、温室効果ガス排出量の部門別推移があり、電力の排

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>出係数があり、固有単位あたりの部門別排出量があり、次のページに関連するグラフや図があり、関連性が分かりにくい。</p> <p>目標値への進捗状況で産業部門における排出量が減っているから市民一人あたりの排出量が減っていると記述する一方で、固有単位あたりの部門別排出量において産業部門の製造品出荷額を見るとプラス59%と増えている。増えているのか減っているのかよく分からない。注釈などがあると理解しやすい。</p>
部会長	<p>表記に工夫を加えるとよい。ご検討いただきたい。その他、ご意見はないか。</p>
B 委員	<p>現状をとりあげ、人が見て分かりやすいようにまとめるとよい。『現状はこうであり、将来こうなると良い』というのがあるとイメージしやすい。別紙1ページでは、最初に目標が設定されており、二酸化炭素削減のための特徴的な取り組みとしてみどりのカーテンの推進と環境家計簿の普及となっている。みどりのカーテンも環境家計簿も取り組みの実績を載せると分かりやすい。こんなにたくさんの方がやっているなら自分もやってみようと思う。</p>
事務局	<p>市の主な事業の実施状況は、別紙7ページにまとめている。市の施策は制度変更等の可能性があり指標としくいため、トピック的に扱い、取り組み件数なども掲載している。</p>
部会長	<p>市民が分かりやすいようにすることが必要である。</p>
事務局	<p>文言の整理を行う。指標と評価の数値が必ずしも一致しないところがあり、分かりにくいので、なるべく分かりやすくまとめるようにする。</p>
B 委員	<p>分かりやすく、自分でもできるかなと思わせるまとめ方にするとよい。</p>
事務局	<p>工夫して対応していきたい。</p>
A 委員	<p>別紙3ページに載っているエコオフィスプランのグラフについて、二酸化炭素排出量よりエネルギー使用量での表記の方が良いのではないか。エネルギー使用量にすると数値がはっきり下がっており努力が見える。</p>
事務局	<p>本市のエコオフィスプランいばらきにおいて、これまでは二酸化炭素換</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	算にしていたが、排出係数の影響を大きく受けるので、今現在取り組んでいる第4版では、省エネルギー法に基づく原油換算で目標を立てているので、エネルギー使用量とすることもできる。
A 委員	それは、全庁舎でのエネルギー量か。
事務局	庁舎、事務事業、公共施設等から出たエネルギー量である。
A 委員	太陽光発電システム等の補助事業の数値は含まれないのか。
事務局	含まれていない。庁舎等に設置した太陽光発電システムは含まれるが、市民向けの補助事業の数値は反映されていない。
A 委員	市民向けの補助事業の取り組みは、市全体の指標にしか入らないのか。
事務局	そうである。
A 委員	目安にしかないかもしれないが、件数よりも数値があったほうがよい。
事務局	別紙7ページに補助件数と設置キロワット数を示しているが、このキロワット数でどの程度の二酸化炭素量が削減できるかは示していない。
A 委員	二酸化炭素削減量の数値を出してはどうか。補助していることも努力の表れだと思う。
事務局	検討する。
C 委員	交通機関の乗客数であるが、人口が減ると乗客数は減り、立命館大学の開学や事業所が増えるようなことがあれば利用者は増える。観光であったり、集客できるような大きな事業があれば人は増えたりする。人口や事業所数などの増減を合わせて比較できるとよい。
部会長	特別なことがあった場合に、特記事項で理解しやすいようにすると良い。
	(2) その他

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
部会長	プラットフォーム、エコグランプリいばらきについて事務局より報告 では、本日はこれで終了する。ありがとうございました。 <閉会>